

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	音楽の都づくり事業		担当課 【2】	文化課		
			評価者(担当者)	松永 千秋		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり				重点 施策【4】
	主要施策(節)	(6)「音楽の都 玉名」づくり				
	施策区分	(1)「音楽の都 玉名」づくりの推進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【       ]		年度予定	金額	千円【 <input type="checkbox"/> 該当なし       ]	
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【       ]		款	10	項	5
					目	8
						細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名女子高等学校と専修大学玉名高等学校の吹奏楽部が全国トップレベルバンドに成長し、「玉名の音楽は盛んなんだ」という意識がより一層高まり一定の成果を得てきたものの、「音楽イコール玉名」としては市内外に浸透していないため、玉名市を「音楽の都」として成長させる必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民・他市町村民及び芸術文化団体・音楽関係者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	豊富で貴重な音楽資源を有効に活用し、魅力ある音楽活動を展開することで、市民に音楽文化の素晴らしさと、全ての人々が音楽を通して感動できる音楽都市の形成を目指す。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【       ]
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【       ]
事務事業の具体的内容 【14】	・市民音楽祭実行委員会等への支援や、市内の中学校・高校を中心としたスクールバンドコンサート、街中コンサート等の充実した充実した音楽活動を推進する。 ・市内21小学校等へアーティストによる出前コンサート(アウトリーチ)実施など芸術文化の向上を図る。 ・庁内に設置したプロジェクトチームが音楽の都玉名の実現に向けて対策を検討し策定した政策推進ビジョンに基づく取組を推進する。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 音楽推進事業 ② 人材育成事業 ③ 推進強化対策検討業務 ④ DVD製作事業 ⑤ 吹奏楽育ての親「小山卯三郎」放映委託事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	50 %		6,471		
		起債	%				
		受益者負担					
		その他			502		
		一般財源		2,485	2,898	9,932	3,942
	【16】 小 計		2,485	2,898	16,905	3,942	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	155	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		1.30	1.20	1.10	1.20
		職員の年間平均給与(千円)		5,685	5,610	5,610	5,610
【17】 小 計		7,391	6,732	6,171	6,732		
合 計		9,876	9,630	23,076	10,674		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 音楽推進事業	会場の充実及び出演団体等の活性化を図る。	音楽イベント開催回数	回	1	1	2	2
② 人材育成事業	小中学校等を対象に出前コンサートを行う。	アウトリーチ開催回数	回	11	21	20	40
③ 推進強化対策検討業務	プロジェクトチームで対策の検討を行う。	プロジェクト会議開催回数	回		10	3	6
④ DVD製作事業	本市とタマにゃんをPRするDVDを製作する。	DVD製作部数	部			1	
⑤ 吹奏楽育ての親「小山卯三郎」放映委託事業	テレビ局への放映委託及びミュージックマップ作成する。	放映テレビ局数	局			7	

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	H26実績
1 音楽イベント来客者数(市民音楽祭を除く)	スクールバンドコンサート・出前コンサート合計来客数	人	850	2,000	2,500	2,700
2 市民音楽祭入場者数	市民音楽祭の会場に入場した人数	人	2,650	2,876	3,041	850
			850	850	850	850
			850	850	800	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	廃止等の場合、市民が音楽のあふれるまちづくりへの参画機会を失われ、市が目指す将来像を構築できなくなる恐れがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	これからの音楽の都づくりは、民間組織が中心となる推進体となり、行政の一定の支援のもと一体感のある協働の取組みへと移行すべきであり、そのためにも市がそのコーディネータとなり、持続可能な推進体制を構築する検討が急がれる。また市はそれまでの間に市民に音楽のまちとしての認識が浸透する効果的な取組みを検討する。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止    】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	玉名市が「音楽の都」という認識が市民が共有するには、公共施設や街中に音楽が溢れるような空間形成や、また市内幼稚園、保育所、小中学校へのCD配布や音楽活動の体験の場を創出することで、音楽に対する親しみや関心を抱かせることができる実行性が高く、効果的な取組みについての検討を行う。また官民協働による推進活動の実現に向け、民間が主体となる推進体制の構築を検討する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	豊かな心を育む感情・情操を、音楽を通して就学前、児童・生徒とその発達段階に応じて浸透させるための事業であり、更なる拡がりが必要と考察する。	評価責任者 中山 富雄
------------------	---	----------------